

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人 上田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ファッション 専門課程	ファッション・プロデュース学科	夜・通信	330	320	
	トップクリエイター学科	夜・通信	450	240	
	ファッションクリエイター学科	夜・通信	330	240	
	ファッションクリエイター夜間学科	夜・通信	324	135	
	ファッションビジネス学科 学科トップマネージメントコース	夜・通信	174	160	
	ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース	夜・通信	210	160	
	ファッションビジネス学科 学科スタイリストコース	夜・通信	240	160	
	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	夜・通信	300	160	
	スタイリングフォト学科	夜・通信	240	240	
	ファッションクラフトデザイン学科	夜・通信	240	240	
	ファッション雑貨デザイン学科	夜・通信	240	160	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.ucf.jp/information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人 上田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

役員名簿を上田安子服飾専門学校事務室で保管・閲覧可

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	平成30年6月24日～令和4年6月23日	経理・財務 等
非常勤	会社役員	平成30年6月24日～令和4年6月23日	不動産関係 等
非常勤	大学教授	平成30年6月24日～令和4年6月23日	学校教育関係 等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人 上田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程編成委員会・外部委員の意見等を参考にしながら各学科で検討したカリキュラムを9月の学科長会議に上程し、カリキュラム構成を決定する。 これに基づき各学科で科目担当を割り振り、担当者がシラバスを作成し、年度末に教務部が取りまとめを行う。</p> <p>点検の後、学生には4月の授業時に各担当から発表し、一般にはHPにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	HPに公開 URL: https://www.ucf.jp/information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>実習・演習科目においては、取り組む際に、各課題の到達目標・評価基準を学生に伝えることを基本とし、課題返却時に各自の習熟度が理解しやすいように努めている。 講義科目においては、小テストやレポート添削によって双方向の教育を実施するよう努めている。 また産学官の取り組みに際しては、事業の事前・事後のレポートを課すなどして、学生が自らの変化に気づきを与えられるよう取り組む。 試験週間には実習授業も含め、すべての科目で試験を実施し、客観的な評価の把握に努めている。</p> <p>こうした結果を集計し、100点満点で評価を行い、単位を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績を各科目100点満点で評価し、科目ごとに平均点を計算し、成績分布の把握に努めている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『指導要項』および『客観的な指標の算出方法』を上田安子服飾専門学校教務部で保管、閲覧可</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格することにより、所定の単位数を取得すること。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>URL : https://www.ucf.jp/information/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人 上田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上で公表 http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html
収支計算書又は損益計算書	HP上で公表 http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html
財産目録	学園本部保管・閲覧可
事業報告書	学園本部保管・閲覧可
監事による監査報告（書）	学園本部保管・閲覧可

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッション・ プロデュース学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3874 単位時間/単位	250 単位時間 /単位	1894 単位時間 /単位	1730 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		60人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、ファッション産業における企画・流通部門の専門人材を育成することを目標としている。 ファッション商品の製造から流通に至る過程を、企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。 グローバルな視点を持った人材を養成するべく在学中、2回の海外研修を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。

学修支援等			
(概要) ICT を活用した授業科目が多いため、専用教室に Wi-Fi 環境を整備している。 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに 素材提供等の支援を受けている。また海外研修のための外国語教育プログラムの充実に 努めている。			
卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	1 人 (17%)	4 人 (66%)	1 人 (17%)
(主な就職、業界等) ファッション関連企業、アパレルおよび雑貨メーカー、専門店 等			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	12 人	20%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	トップクリエイター 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2722 単位時間/単位	490単 位時間/ 単位	582単 位時間/ 単位	1650 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	120人	0人	3人	13人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>アパレル商品の製造から流通に至る過程を、企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p> <p>グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、3年次には海外で作品発表の研修を実施する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。また海外展示会の製作に際し、学校が工賃等を支援している。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	人 （%）	人 （%）	人 （%）
（主な就職、業界等）			
アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等			
（就職指導内容）			
キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項) 令和元年度が完成年度のため卒業者はなし。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	10人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッション クリエイター学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2722 単位時間/単位	490単 位時間/ 単位	582単 位時間/ 単位	1650 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
360人	400人	10人	14人	42人	56人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 アパレル商品の製造から流通に至る過程や、衣装製作の実践について企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。								
成績評価の基準・方法								
（概要） 試験、提出課題、授業態度を評価する。								
卒業・進級の認定基準								
（概要） 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。								
学修支援等								
（概要） 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。								
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）								
<table border="1"> <tr> <td>卒業生数</td> <td>進学者数</td> <td>就職者数 (自営業を含む。)</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>132人 (100%)</td> <td>7人 (6%)</td> <td>99人 (75%)</td> <td>25人 (19%)</td> </tr> </table>	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	132人 (100%)	7人 (6%)	99人 (75%)	25人 (19%)
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他					
132人 (100%)	7人 (6%)	99人 (75%)	25人 (19%)					
（主な就職、業界等） アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等								
（就職指導内容） キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トクセミナー、校内企業セミナー、インターシッ								

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>400 人</p>	<p>30 人</p>	<p>7.5%</p>
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションクリエ イター夜間学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1710単位時間 ／単位	57単位 時間/単 位	105単 位時間/ 単位	1548 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		45人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>アパレル商品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	1人 (6%)	12人 (70%)	4人 (24%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	13人	28%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 トップマネジメントコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816単位時間 /単位	790単 位時間/ 単位	596単 位時間/ 単位	430単 位時間/ 単位	単位時間/ /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の 内数		23人	2人の内数	2人	13人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) (概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。 アパレル商品の企画から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、商品の企画・提案から販売にいたるまで演習をとおして学修する。 グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、2年次には海外でバイイング等の研修を実施する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準

(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに、課題の発表時に企業の審査員を招請し、評価を受けている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
88人の内数 (100%)	5人の内数 (6%)	75人の内数 (85%)	8人の内数 (9%)
(主な就職、業界等) アパレル企業、雑貨メーカー、小売業			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
222人の内数	20人の内数	9%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816単位時間 /単位	790単 位時間/ 単位	596単 位時間/ 単位	430単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
単位時間/単位							

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240人の内数	82人	2人の内数	2人	14人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>ファッション商品の企画から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、商品の企画・提案から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに、課題の発表時に企業の審査員を招請し、評価を受けている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
88人の内数 （100%）	5人の内数 （6%）	75人の内数 （85%）	8人の内数 （9%）
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル企業、雑貨メーカー、小売業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
222人の内数	20人の内数	9%

(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 スタイリストコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816 単位時間/ 単位	790単 位時間/ 単位	596単 位時間/ 単位	430単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の 内数		124人	2人の内数	1人	14人 の内数	15人の 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) (概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。 ファッション商品の企画・提案から広報・販売にいたるまでの過程を企業との連携によるプログラム等を活用しながら演習をとおして学修する。			
成績評価の基準・方法			
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、各種ファッションイベントにおける研修を充実させている。			
卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
88人の内数 (100%)	5人の内数 (6%)	75人の内数 (85%)	8人の内数 (9%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>スタイリスト事務所、フォトスタジオ、アパレル企業、雑貨メーカー、小売業</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
222人の内数	20人の内数	9%
(中途退学の主な理由)		
進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション専門課程	ファッションビジネス・ストアマネジメント学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1804単位時間/単位	820単位時間/単位	884単位時間/単位	100単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	7人	0人	1人	3人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、企業との連携による実習プログラムを修得することで店舗の運営からマネジメントにいたるキャリアパスを描ける販売職の専門人材を育成する。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 試験、提出課題、授業態度を評価する。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
（概要） 実店舗での販売研修先と担当教員が密に連携し、とくにメンタル面でのフォローを行っている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレル企業			
（就職指導内容） キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>10 人</p>	<p>3 人</p>	<p>33%</p>
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション専門課程	スタイリングフォト学科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2730 単位時間/単位	279 単位時間/ 単位	2031 単位時間/ 単位	420 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		5人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ファッションブランド等の広報にかかる専門人材を育成することを目標としている。ファッション商品の広報について企業との連携によるプログラム等を活用しながら、演習をとおして学修する。グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、3年次には海外で作品発表の研修を実施する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）撮影機材等の充実に加え、海外研修のための外国語教育プログラムの充実に努めている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人	人	人	人
<p>（主な就職、業界等）フォトスタジオ、写真家事務所、アパレル企業、雑貨メーカー、小売業 等</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定 等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和元年度の新設学科により卒業生はなし。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション専門課程	ファッションクラフトデザイン学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2730 単位時間/単位	180 単位時間/単位	410 単位時間/単位	2140 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		16人	2人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、シューズ・バッグ産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>商品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実制作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p> <p>グローバルな視点からのファッション産業を実感するべく、3年次には海外で作品製作および発表の研修を実施する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人	0人	0人	0人
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>シューズ・バッグ製造企業、雑貨メーカー、小売業 等</p>			

(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークショー、校内企業セミナー、インターシップ
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、バッグ検定 等
(備考)(任意記載事項) 令和元年度が完成年度のため卒業生はなし。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	2 人	13 %
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション専門課程	ファッション雑貨デザイン学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1820 単位時間/単位	50単位 時間/単位	120 単位時間/単位	1650 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		16人	2人	1人	6人	7人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) (概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、ファッション産業における雑貨製品の企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 雑貨製品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
<p>学修支援等</p>			
<p>(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。</p>			
<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
<p>(主な就職、業界等) アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、小売業等</p>			
<p>(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション・ブ ロデュース学 科	30 万円	81 万円	35 万円	
トップクリエイ ター学科	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッションク リエーター学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションク リエーターア トバンス学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションビ ジネス学科	30 万円	60 万円	35 万円	内 1 コースのみ授業料 70 万円
ファッションビ ジネス・ストア マネジメント学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
スタイリングフ ォト学科	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッションク ラフトサイ ン学科	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッション雑 貨デザイン学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションク リエーター夜 間学 科	10 万円	27 万円	19 万 5 千円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.uedagakuen.ac.jp/school.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、企業委員、地域関係者、学校関係有識者から構成される学校関係者評価委員会を開催し、自己点検評価報告書に基づき、校長・各担当が学校の現況を説明し、学校運営についての御意見を頂戴している。内容は教員全体会議で発表・検討し、改善に活用している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関西整染株式会社 日比 吉彦	平成 3 0 年 4 月 1 日 ～ 令和元年 3 月 3 1 日	企業関係者・卒業生

大阪市北区商店会総連合会 副 会長 三島 保	平成30年4月1日 ～ 令和元年3月31日	地域関係有識者
一般社団法人 大阪自由大学理事 長 池田 知隆	平成30年4月1日 ～ 令和元年3月31日	教育関係有識者
大阪成蹊大学 准教授 石井 理之	平成30年4月1日 ～ 令和元年3月31日	学校運営有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 議事録を上田安子服飾専門学校教務部に保管、閲覧可		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ URL: https://www.ucf.jp/ 学園ホームページ URL: http://www.uedagakuen.ac.jp/ 学校パンフレット HP、電話などで資料請求
--